

5月グループ山行

5月2日～4日 石鎚山系 (平家平、笹ヶ峰、寒風山)

参加者21名

CL 宮木一民

SL 熊谷 修

SL 鬼武良子

中島ミ、円山、熊野
上別祖、宮木ス、坂井
八木サ、中谷、滝
中島ヤ、林、三浦
[会友] 八木マ、八木レ
宮木フ、宮木ト、小山、
津田



コースタイム

2日

広島新幹線口 22:00⇒(山陽自動車道・しまなみハイウェイ)⇒伊予西条⇒新居浜

3日

マイントピア別子 2:00(仮眠)～朝食 6:00～中七番登山口 6:30(ジャンボタクシー)
登山開始 6:50→ナスビ平 8:40→一ノ谷越 9:50→冠山 10:35→平家平 11:35～12:15(昼食)
→冠山 13:05→一ノ谷越 13:45→笹ヶ峰分岐点 14:35→丸山荘 16:15

4日(歩行 8時間)

起床・朝食 6:30→出発 7:20→笹ヶ峰 8:30→寒風山 10:30～11:15(昼食)→桑瀬峠
12:00→寒風山トンネル入口駐車場 12:50(しまなみハイウェイ・山陽自動車道)→
広島駅 19:10(歩行 4時間)

○

☆夜行バス、少ない仮眠時間、初日8時間の歩行時間等など私たちには少々ハード過ぎる計画であった。

☆自家用車2台の当初の計画が最終的にマイクロバスになり、ルートも大幅に変更を余儀なくされた。

☆登山口までバスが入れるかどうか、

あちこちに TEL したり、ツバメ交通に調べてもらったが、最後まで確信が得られず、結局ジャンボタクシーでの移動となった。

☆アケボノツツジは大変よかったが、ナスビ平のカタクリの大群生地はすでに花は終わりに近く、少ししか見ることが出来なかった。

☆山小屋丸山荘は、宿泊客が多く食事の準備などで大変だったようだが、従業員の方々は感じがよく、冷たいビール、ふかふかの布団などととてもよかった。コメツツジの咲くころもういちど訪ねてみたい。

☆縦走路からの展望は素晴らしく、感嘆の声が何度もあがった。

☆下山後、山小屋で教えてもらった温泉に向かったが、とても狭いみちで対向車との離合にヒヤヒヤだった。駐車場がいっぱいでお風呂もあきらめた。

☆会友の八木さんにはとてもすばらしいアルバムをつくってもらい感謝している。先になり、後になりたくさんの写真を撮ってもらった。

☆疲れや力不足でリーダーとしての任務を十分果たすことが出来なかったが、SLをはじめみなさんの協力で無事山行を終えることができとてもうれしい。

(記 宮木一民)

○

四国の名峰三山を

楽しんできました

3日 6:50 石鎚山脈の縦走が始まる。天気は快晴、川の左に沿って歩く。水は透きとおる小さな滝の連続で、迫力のある音を立てている。どこまでも響く音に、四国は、山が多いせいか、水量が多いことに気づかされる。ゆるやかな登りをしばらく歩く。山を見上げると、尾根つたいにアケボノツツジが、山肌をピンク色

に染めあげている。みんな歓声を上げる。思わぬ収穫だ。次第に勾配がきつくなり汗が出始める。笹の中の踏み跡をたどり冠山頂上に立つ。頂上は狭く文字通りと納得する。次の平家平までは、1時間ほど、山頂で昼食をとる。広大な笹原が続き、日陰がほとんどない。直射日光をしっかりと浴びての山歩きが続く。時折の尾根筋の心地よい風に思わず深呼吸をする。1人ずつ21人の列がつづき、壮快である。

4日 5:20 起床、意外と足が痛くない。7:20 から歩き始める。朝の光に、山々がくっきりと浮き出て見える。昨夜の宿が眼下に見える。1時間余りで笹ヶ峰の山頂に着く。あたり一面まだ早いコメツツジと笹が覆っている。山頂からの展望が素晴らしい！近くに石鎚山も見え、360度のパノラマを楽しむ。次の目的地寒風山へ続く白い道が見えるのもうれしい。寒風山への道のサイドには、目の高さ、手に取るような位置に可憐で愛らしいアケボノツツジが咲き乱れ「参加してよかった」の声しきり…。10:30 三角点にタッチ！ 達成しました。皆さんすこぶる快調に歩きました。くたばる人 皆無。

石鎚山脈は、標高1800メートル級のコブのある山々が、連なり重なりあった魅力のある山でした。最高の天気恵まれ、秀峰三山を楽しみました。

(記 上別祖 邦子)